

目 次

研究進行スケジュール	．．．．．	1
Ⅰ 公募要旨	．．．．．	2
Ⅱ 公募について	．．．．．	2
Ⅲ 研究の流れ	．．．．．	3～5
Ⅳ その他（研究計画変更、延長、辞退）	．．．．．	6
各様式の記載例		
様式 1 研究の動機	．．．．．	7
様式 2-1 研究助成交付申請書及び誓約書	．．．．．	8
様式 2-2 研究計画書 Ⅰ Ⅱ	．．．．．	9
様式 2-2 研究計画書 Ⅲ	．．．．．	10
様式 3-1 研究助成報告書	．．．．．	11
様式 3-2 研究成果報告書	．．．．．	12
様式 4 研究計画変更届	．．．．．	13
様式 5 研究辞退届	．．．．．	14
参考：地域課題研究テーマの紹介	．．．．．	15
参考：新潟県立看護大学 領域・科目群別専任教員	．．．．．	16

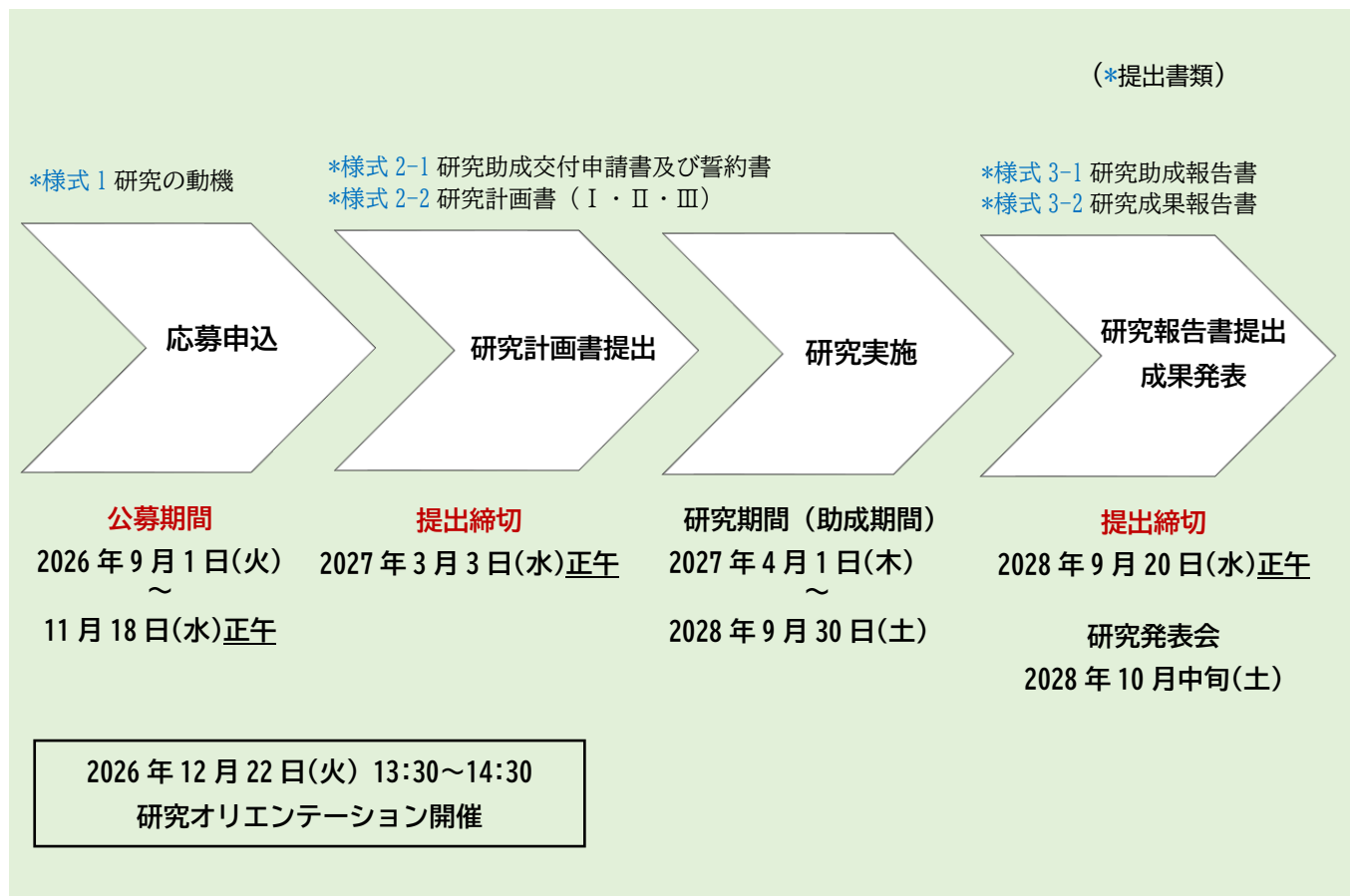
“看護場面で感じている疑問”や“解決したいと考えている課題”を
お持ちの看護職の皆様へ！

「研究は難しくて一歩が踏み出せない」「どう取り組んでよいかわからない」
「研究計画書の書き方がわからない」「データの分析方法や活用方法がわからない」
「もっと根拠を深める研究に取り組みたい」

本学の教員が共同研究者となり、看護研究のプロセスをサポートします。
一緒に取り組んでみませんか！



2027 年度地域課題研究 進行スケジュール



公立大学法人新潟県立看護大学 看護研究交流センター 2027 年度地域課題研究公募要領

新潟県内の看護実践に携わる看護職を対象に公募します。

I 公募要旨

新潟県立看護大学看護研究交流センターは、新潟県内の保健・医療・福祉の分野で看護実践に携わる看護職を対象に、看護実践上の問題や課題解決に向けた研究を公募し、看護職と新潟県立看護大学(以下「本学」という。)教員が共同で取り組み、看護実践現場における看護研究の活性化ならびに看護実践の質の向上に寄与することを目的とし、地域課題研究の助成を行っています。

II 公募について

1. 公募期間

2026 年9月1日(火)～11 月 18 日(水) 正午 期日厳守

2. 公募条件

- ・ 申請者(研究代表者)および共同研究者は、新潟県内の看護実践に携わる看護職(看護師・助産師・保健師)とする。ただし大学院生は対象外とする。
- ・ 一施設につき 3 テーマを上限とし、同一研究代表者の申請は 1 題とする。

3. 公募テーマ

看護実践上の問題・課題に関するテーマであること

4. 研究助成金

一課題研究につき 10 万円

5. 研究助成金利用対象者

研究代表者および共同研究者2名まで

6. 研究期間(研究助成期間)

2027 年 4 月 1 日(木)～2028 年 9 月 30 日(土)

7. 提出先・問い合わせ先

公立大学法人新潟県立看護大学 看護研究交流センター

〒943-0147 新潟県上越市新南町 240 番地

TEL・FAX:025-526-2822 (平日 9:30～16:00)

E-mail:nirin@niigata-cn.ac.jp

【個人情報の取り扱いについて】

新潟県立看護大学の個人情報保護方針に基づいて厳重に管理し、提出された個人情報は、新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究に伴う書類作成と発送のみに用い、この範囲を超えて取り扱うことはしません。

Ⅲ 研究の流れ

1. 応募申込

公募期間 2026 年 9 月 1 日(火)～11 月 18 日(水) 正午 期日厳守

様 式：様式 1「研究の動機」※看護研究交流センターホームページからダウンロードしてください。

提出方法：看護研究交流センター nirin@niigata-cn.ac.jp 宛てに Word データで添付送信

- ・ 7 ページの記載例を確認し、所定の様式に記載してください。
- ・ 様式 1「研究の動機」の提出をもって地域課題研究の申込みとします。

2. 研究採択通知

- ・ 承認後、研究代表者へ採択の通知を行います。その際、本学共同研究責任者をお知らせします。
- ・ 採択された研究代表者は、下記のオリエンテーションに参加してください。

◆ 2027 年度地域課題研究 オリエンテーション ◆

開催日時：2026 年 12 月 22 日（火）13：30～14：30

開催方法：オンライン

参 加 者：研究代表者、本学共同研究責任者 他

内 容：研究スケジュール、助成金利用について
初回顔合わせ、打ち合わせ等

3. 研究助成交付申請書、研究計画書提出

提出期限 2027 年 3 月 3 日(水) 正午 期日厳守

様 式：様式 2-1「研究助成交付申請書」、様式 2-2「研究計画書Ⅰ・Ⅱ」、様式 2-2「研究計画書Ⅲ」

※看護研究交流センターホームページからダウンロードしてください。

提出方法：看護研究交流センターに持参または郵送(期日必着)

- ・ 8・9・10 ページの記載例を確認し、所定の様式に記載してください。
- ・ 様式 2-1 および様式 2-2 の提出をもって地域課題研究助成交付の申請とします。
- ・ 研究助成申請者は、研究代表者(研究を実施する主たる者)になります。共同研究者の記載は、2名までとしてください。

4. 研究助成交付通知

- ・ 審査、承認後、研究代表者へ研究助成交付の通知を行います。

5. 倫理審査・倫理的配慮について

倫理審査について

- ・ 研究の実施にあたり、所属施設の倫理委員会またはこれに準ずる機関等の審査を受け承認を得てください。
- ・ 所属施設に倫理委員会またはこれに準ずる機関等がない場合は、本学の倫理委員会を受審してください。その際、本学共同研究責任者が研究責任者として受審することになります。
- ・ 研究報告書に、倫理委員会等の承認を得た旨を記載してください。

倫理的配慮について

- ・ 所属施設の倫理規定を遵守し、研究を進めてください。
- ・ 所属施設に倫理規定がない場合は、『看護職の倫理綱領』、『看護研究のための倫理指針』、『人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針』、『個人情報の保護に関する法律』等に準拠してください。

研究倫理に関する講習会の受講について

- ・ 研究計画書の着手にあたり、研究代表者および共同研究者は、所属施設が推奨する研究倫理に関する講習会(e ラーニング)を受講してください。
- ・ 所属施設に推奨する講習会がない場合は、本学が利用している【日本学術振興会 研究倫理 e ラーニング コース(無料)】を受講してください。受講後に修了証が発行されます。

※本学の倫理委員会を受審する場合は、研究代表者および共同研究者の受講修了証書の提出が必須となるため、ご注意ください。

「日本学術振興会 研究倫理 e ラーニングコース」

<https://elcore.jsps.go.jp/top.aspx>

*新規登録(個人)より登録して受講

6. 研究期間、研究助成期間

研究期間、研究助成期間：2027年4月1日(木)～2028年9月30日(土)

- ・ 研究助成期間は、研究期間と同一期間になります。
※ただし2028年10月に本学で行う研究発表会当日の旅費の請求、および研究終了年度内の学会発表・学会誌投稿に係る経費の請求ができます。
- ・ 助成金の利用については、別冊の【地域課題研究 助成金利用の手引き】を参照し、手続きを行ってください。

7. 研究報告書提出

提出期限 2028 年9月 20 日(水) 正午 期日厳守

様 式 : 様式 3-1「研究助成報告書」、様式 3-2「研究成果報告書」

※看護研究交流センターホームページからダウンロードしてください。

提出方法 : 看護研究交流センターnirin@niigata-cn.ac.jp宛てに Word データで添付送信

- ・ 11・12 ページの「**記載例**」を確認し、所定の様式に記載してください。
- ・ 様式 3-1 および様式 3-2 の提出をもって研究の報告とします。
※様式 3-2「研究成果報告書」は、研究発表会の抄録を兼ねています。
- ・ 報告書は、研究終了年度の看護研究交流センター活動報告書に収載し、本学のリポジトリに保存します。

8. 研究発表会

2028年 10 月中旬(土) 予定 ※日時決定後、看護研究交流センターホームページに掲載

- ・ 発表者は研究代表者とし、発表等について事前の案内を行います。
- ・ 発表は上越地域看護研究発表会と合同の発表会になります。
※発表会プログラムは 9 月下旬以降、看護研究交流センターホームページに掲載します。
- ・ 発表会当日、会場参加者へ抄録集を配布します。

9. 研究の公表

- ・ 学会・学術集会の発表、学会誌等への論文投稿は、本学で行う発表会後となります。

IV その他

研究計画の変更

- ・ 助成交付後、研究計画に変更が生じた場合は、様式 4「研究計画変更届」に理由を記載し、変更後の様式 2-1「研究助成申請書」、様式 2-2「研究計画書 I・II・III」を添付して提出してください。
※研究代表者や共同研究者の変更、所属施設および連絡先の変更であっても提出してください。

研究期間の延長

- ・ やむを得ないと判断される場合は、1 年に限り研究期間を延長することができます。様式 4「研究計画変更届」に延長の理由を記載し、提出してください。
- ・ 延長が認められた場合、引き続き助成金(残額分)の利用が可能になります。

研究の辞退

- ・ 助成交付後、やむを得ず研究を中止する場合は、本学共同研究責任者の了承の上、様式 5「辞退届」を交流センターに提出してください。
- ・ 利用した助成金の全額は本学に返納することになります。

様式1 研究の動機 **記載例**

新潟県立看護大学看護研究交流センター20〇〇年度地域課題研究
申込書（研究の動機）

MS 明朝・10.5 ポイント、余白上下左右 20 mm、1 ページ以内

申込年月日	20〇〇年 月 日	
フリガナ		職種：
研究代表者氏名		
所属施設名		
所在地	〒	
電話番号		
E-mail	ファイルの送受信が確実にできる PC メールアドレスを記載 ※英数字、記号に誤りがないよう記載	
1 研究テーマ（仮）		
2 研究の動機・理由		
3 研究方法 ※現時点で考えている方法		
4 研究体制 ※共同研究者の氏名・所属施設・職種	共同研究者の氏名・職種(<u>看護職に限る</u>)・所属施設名の順で記載	
5 本学共同研究責任者 又は領域の希望	希望する教員名または領域を記載、希望がなければ記載不要	

新潟県立看護大学看護研究交流センター20〇〇年度地域課題研究
助成交付申請及び誓約書

20〇〇年 月 日

新潟県立看護大学
看護研究交流センター長 様

研究申請者

研究代表者

所属施設

所在地

連絡先

本学共同研究責任者 **主となる教員名を記載**

氏 名



下記の研究名により、地域課題研究助成交付の申請をします。

記

研究名：**主題・副題を含めて 60 字以内**

誓約書

私は、新潟県立看護大学看護研究交流センター20〇〇年度地域課題研究の助成を受けるにあたり、次のことを誓約します。

1. 公立大学法人の研究助成を受ける者として、貴学のルールに従い適正に利用します。
2. 公立大学法人の研究助成を受ける者として、研究者としての行動に責任を持ち研究を実施します。
3. 公立大学法人の研究助成を受ける義務として、研究成果を報告します。

20〇〇年 月 日

研究代表者氏名

新潟県立看護大学看護研究交流センター20〇〇年度地域課題研究
研究計画書

Ⅰ. 研究実施体制

MS 明朝・10.5 ポイント

提出年月日	20〇〇年 月 日		
研究名(テーマ)			
フリガナ		職種・職名	例) 看護師・看護師長
研究代表者氏名			
所属施設			
連絡先	部署名		
	住所	〒	
	電話番号	内線：	
E - mail	申込(研究の動機)時と同じアドレス		
共同研究者 (氏名・所属施設・職種) ※記載は2名まで	〇〇 〇〇子	△△△病院	看護師
本学共同研究責任者 (氏名・領域・職名) ※複数の場合は主となる教員 を上段に記載	〇〇 〇〇子	△△看護学	准教授

Ⅱ. 研究計画

MS 明朝・10.5 ポイント、余白：上下左右 20 mm、本ページを入れて 2 ページ以内

以下の項目に沿って記載 1. 研究の概要 (1) 研究目的 (2) 研究期間 (3) 研究対象 (4) 研究方法（研究手順、分析方法） 2. 倫理的配慮

* 記載にあたり不明な点は看護研究交流センターに問い合わせください。

Ⅲ. 研究計画経費

MS 明朝・10.5 ポイント、余白:上下左右 20mm、1 ページ以内

研究代表者氏名			
必ず単価、数量を記載してください。 本学共同研究責任者氏名		千円未満は切上げて記載してください。	
使途 区分	品名・単価(税込)・数量 (円)	金額(税込) (円)	必要理由
旅費	例) 〇〇病院－看護大学 自家用車往復 @(22×66 km+高速料金 1,500)×2 回	6,000	研究の打ち合わせ
	学会交通費 鉄道 26,000×2 名	52,000	〇〇〇学会発表予定
		<u>小計 58,000</u>	旅費の小計額が 6 万円を超えないように注意してください。
需用費	例) 学会参加費 @10,000×2 名	20,000	〇〇〇学会発表予定
	書籍代 @3,800×2 冊	8,000	参考文献
	USB メモリ @930×2 個	2,000	データの保存、持ち運び
		<u>小計 30,000</u>	
役務費	例) 切手 @110×30 枚+封筒@200×2 個	4,000	研究調査に使用
	データ入力委託 @2,035×3 時間+交通費 1,500	8,000	研究時間の効率化
		<u>小計 12,000</u>	
報償費			
合計		100,000	各小計の合計金額を記載してください。

注意) 品名・単価・数量を漏れなく記載、金額欄は千円未満を切上げて記載、旅費は助成額の 6 割以内。

新潟県立看護大学看護研究交流センター20〇〇年度地域課題研究
研究助成報告

報告年月日 20〇〇年 月 日

新潟県立看護大学
看護研究交流センター長 様

20〇〇年度地域課題研究の助成を受け、研究を終了したので報告します。

MS 明朝、10.5 ポイント

1. 研究名

2. 研究代表者

所属施設名 氏名

3. 共同研究者

所属施設名 氏名

4. 本学共同研究責任者 **複数の場合は主となる教員を上段に記載**

新潟県立看護大学 職名 氏名

5. 研究助成金の執行 **金額は記載不要**

予算額	100,000 円				
執行額	旅費	報償費	役務費	需用費	合計（単位円）

6. 研究成果の公表

学会・学術集会発表、学会誌投稿の予定を記載する 例）第〇〇回〇〇〇学術集会

予定がない場合は記載不要

<書式の設定>を参照し、1 ページ以内に作成してください。

研究テーマ (中央揃え)

(改行)

研究代表者、共同研究者、本学共同研究責任者の順に記載 (中央揃え)

新潟花子¹⁾， 上越花子¹⁾， 大学花子²⁾

1) ○○病院 2) 新潟県立看護大学

キーワード：○○○，△△△，□□□

(改行)

【目的】

【方法】

【倫理的配慮】

【結果】

【考察】

【結論】

【利益相反】 例文) 本研究は、20○○年度新潟県立看護大学看護研究交流センター地域課題研究の助成を受けて実施した。

【引用文献】 本文中に引用した文献の書誌情報を記載

<書式の設定>

<字 体> MS 明朝体・全角、英数字は半角 Century、

<大きさ> 研究テーマ：12 ポイント 研究者名・所属施設名称・キーワード・本文：10 ポイント

<余 白> 上下左右 各 20mm

<文字数> 本文 1200 字～1800 字程度 行間を調整して 1 ページ以内

<句読点> ， 全角コンマ ・ 全角ピリオド で統一

- ・略字を用いる場合は初めに正式名称を書き、その後省略する。
- ・外国人名、地名などは原綴を使用、度量衡の単位は国際単位の標記を使う。
- ・図表の文字サイズは最低 8 ポイントとし、図は下に、表は上に図表番号とタイトルを明記する。

新潟県立看護大学看護研究交流センター20〇〇年度地域課題研究
研究計画変更届

20〇〇年 月 日

新 潟 県 立 看 護 大 学
看護研究交流センター長 様

研究申請者（研究代表者）

氏 名

所属施設

本学共同研究責任者 **主となる教員名を記載**

氏 名

下記のとおり変更したいので、申請します。

研究名：**研究テーマを記載**

変更項目	変更後の内容	変更理由
研 究 名		
研 究 者		
計画内容		
そ の 他 ()		

注）本様式に、変更後の様式 2-1 研究助成交付申請書、様式 2-2 研究計画書を添付して、看護研究交流センターに提出してください。

新潟県立看護大学看護研究交流センター20〇〇年度地域課題研究
辞退届

20〇〇年 月 日

新 潟 県 立 看 護 大 学
看護研究交流センター長 様

研究申請者（研究代表者）

所属施設

職 種

氏 名 ㊟

本学共同研究責任者 複数いる場合は全て記載

氏 名 ㊟

このたび、 年 月 日をもちまして、20〇〇年度地域課題研究を辞退します。
利用した助成金の全額を貴学に返納します。

1. 研究名
2. 辞退の理由
3. 返納金額

注) 看護研究交流センターに返納金額を確認し記載してください。

地域課題研究テーマの紹介（現在進行中の研究）

（申込順）

年度	研究代表者	所属	本学共同研究 責任者	研究テーマ
二〇二六年度地域課題研究	南 雲 恵 美	新潟県立中央病院	石 岡 幸 恵	入院中における医療用麻薬自己管理が進まない要因 ―病棟看護師の認識調査から―
	倉 品 和 美	見附市立病院	石 田 和 子	生活・暮らしを支えるための情報共有を行うための、地域包括ケアシステムの役割発揮を目指す ICT 活用の課題と解決策
	立谷佐知子	厚生連上越総合病院	岡 村 典 子	地域医療構想のもと移管となった部門における看護師間の協働について
	河 合 夏 海	長岡赤十字病院	坂田智佳子	大腿骨近位部骨折患者への二次性骨折予防パンフレットが退院後 1 年間の服薬継続率に及ぼす影響
	鍋 田 千 尋	総合リハビリテーションセンター みどり病院	関 睦 美	病棟看護師における ACP 実践の阻害要因
	吉 田 民 子	新潟県立妙高病院	山岸美奈子	地域の小規模病院における病棟環境が若手看護師に与える影響～先輩看護師と新人看護師へのインタビュー～
	吉 田 真 未	長岡赤十字病院	石 田 和 子	血液造血管疾患患者が体験する味覚変化症状とその対処法の分類
	竹内真奈美	厚生連上越総合病院	東 條 紀 子 原 等 子	在宅介護支援専門員が急性期病院からの退院事例に関わる困難感～急性期病院に求める退院調整や支援に対する期待を探る～
	帆 苺 千 絵	まるごと訪問看護ステーション	小長谷百絵 原 等 子	地域在住高齢者の支援拒否への対応に関する事例研究
二〇二五年度地域課題研究	立川由紀子	見附市立病院	石 岡 幸 恵	地域施設の協力医療機関としての病院における看護師の緩和ケアに関する認識と課題
	大 家 あずさ	南魚沼市民病院	谷内田潤子	弾性ストッキングの着脱方法に関する看護師の知識と実践の実態調査
	山 田 希	長岡赤十字病院	石 田 和 子	がん治療への期待が強い患者へ最期まで本人らしく生きることを支える看護
	早川由紀美	長岡赤十字病院	相 澤 達 也	急性心筋梗塞により緊急 PCI を受けた患者の体験～病名告知から IVR 室退室までに焦点をあてて～
	武 田 織 枝	吉岡内科クリニック	小 林 綾 子	A 地域における災害時の糖尿病療養支援に携わる看護師の役割
	傳 谷 典 子	介護老人保健施設サンプラザ長岡	小長谷百絵	高齢者施設に勤務する医療・福祉職のストレスに関する研究
	田 中 浩 之	新潟県立中央病院	伊豆上智子 岡 村 典 子	上越圏域の看護管理者が、各施設の枠を超えて地域の課題に取り組むことが可能となった要因
	柳 森 弥 生	新潟病院附属看護学校	岡 村 典 子	腰痛のない看護師が取り組んでいる具体的な腰痛予防対策の実態
	丸 山 芽 吹	さいがた医療センター	大久保明子 野 澤 祥 子	神経難病患者のアドバンス・ケア・プランニングに関する看護師の認識と課題

※過去の地域課題研究は、本学リポジトリ「看護研究交流センター活動報告書」に掲載しています。

領 域	科 目 群	職 名	氏 名
人間環境科学	社会科学	准教授	渡 辺 弘 之
		准教授	徐 淑 子
	情報科学	教 授	中 村 義 実
		准教授	永 吉 雅 人
		准教授	エルダトン・サイモン
自然科学	生物・医学	教 授	堀 江 正 男
		教 授	石 井 角 保
		准教授	葛 城 美 徳
基礎看護学	看護管理学	教 授	恩 幣 宏 美
	基礎看護学	教 授	岡 村 典 子
		講 師	川 島 良 子
		助 教	谷 内 田 潤 子
		助 教	山 岸 美 奈 子
		助 教	池 田 よ し 江
臨床看護学	成人看護学	教 授	石 田 和 子
		教 授	高 柳 智 子
		准教授	樺 澤 三 奈 子
		准教授	小 林 綾 子
		講 師	横 川 史 穂 子
		講 師	石 岡 幸 恵
		助 教	相 澤 達 也
		助 教	坂 田 智 佳 子
		助 教	杉 山 潤
	小児看護学	教 授	大 久 保 明 子
		講 師	塚 原 美 穂
		助 教	野 澤 祥 子
		助 教	小 林 宏 至
	母性看護学・助産学	教 授	常 盤 洋 子
		准教授	増 澤 祐 子
		講 師	八 巻 ち ひ ろ
		講 師	上 田 恵
		助 教	五 十 畑 麻 奈 美
		助 教	黒 崎 美 月
		助 教	塚 田 文 枝
地域生活看護学	老年看護学	教 授	小 長 谷 百 絵
		准教授	原 等 子
		講 師	東 條 紀 子
		助 教	大 倉 由 貴
		助 教	青 山 拓 夢
	精神看護学	教 授	谷 本 千 恵
		講 師	船 山 健 二
		助 教	伊 藤 ひ か る
	地域看護学	教 授	高 林 知 佳 子
		准教授	野 口 裕 子
		准教授	関 睦 美
		講 師	前 川 絵 里 子
		助 教	久 保 野 裕 子
		助 教	佐 藤 絵 美

 公立大学法人 新潟県立看護大学看護研究交流センター

〒943-0147 新潟県上越市新南町 240 番地

TEL・FAX 025-526-2822（受付時間 平日 9:30～16:00）

メールアドレス nirin@niigata-cn.ac.jp

ホームページ <https://www.nirin.jp/>

